

平成 27 年 12 月 15 提出

日付	平成 27 年 12 月 12 日 (土)			
場所	天神福岡ビル 9 階		記録者名：平山寛美	
出席者 (敬称略)	北九州湯川病院 岩見 実穂子	古森病院 和田 多美子	有吉病院 中野 香織	福岡和仁会病院 平山 寛美
	東福岡病院 高橋 由美	北九州八幡東病院 水上 昌子		
テーマ	課題の取り組みについての進展状況の報告			
結論	<p>薬物：抗精神薬（リスペリドン）を減らす取り組みを行い同意書を作成することができた。書式は身体拘束と同じ書式で一本化した。3 種類の併用になったら薬物拘束とみなすという病院の基準を作った。</p> <p>ミトン：入院した方がミトンをしていてミトン使用者の人数はなかなか減らない。又家族の意向でミトンをしている。ミトンを外していたら十二指腸まで入れていた方が抜いてその後の対応が大変だった。又施設によっては胃内容部の確認が出来なかったらレントゲンで確認の為に、とても手間がかかる。先日はミトン使用者ではない方が想定外で CV 抜去をされて主治医に怒られてしまった。ミトン使用者を同室にまとめて対応してみた。短時間でもミトンを外してみた。気切に関しては生命の危機があるのでミトンの除去は困難である。</p> <p>教育：抑制に対する勉強会を行なっている。近々勉強会を予定している。抑制の本を一部抜粋して病棟スタッフに配ってみた。抑制されている患者の書類を受け持ち看護師に声掛けをして整備に努めた。ミトン使用者の手浴の徹底。</p> <p>センサーマット使用者のフローチャートの作成中。</p>			
決定事項	<p>○薬物抑制に対する同意書が出来た。抗精神薬（3 種類の併用）の基準が出来た。</p> <p>○ミトンを外す事に関しては家族の同意・医師の同意が必要。スタッフも業務優先の為に協力が得にくい。→しかし継続してミトンを外す為の働きかけは継続しなくてはならない。</p>			
備考	司会：中野 香織			
次回討論項目	最終まとめ。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@fukuokakenryo.jp